

ヤマト絵日記 その10



「西城紫水高校便り」



5月31日に、今年度第一回活性化プロジェクトチーム会議が開催されました。今年度入学生は21名、5月1日現在の全校生徒は58名で、県教委が示す入学生20名以上はクリアしましたが、全校生徒数60名以上に達しませんでした。来年、基準を下回れば、①キャンパス校、②中高学園構想への移行、③統廃合のいずれかに進んでいきます。

昨年度のプロジェクト会議の取り組みは、高校の存続のための議論を伝え、問題を提起するために、まちづくり便に「紫水高校便り」として、毎回掲載してきました。夏のどねりやあ祭りでは、樽募金を約33万円を高校へ寄付しました。さらに、地域みらい留学を活用して、全国募集をするための登録費用88万円の予算化を、庄原市及び庄原市議会に、要望、請願しました。(この原稿を書いている段階では、請願は市議会で採択されましたが、予算は付いていません。)

今年度県教委は、学校の活性化策を実施できるよう、200万円(従来は45万円)の予算措置を行いました。紫水高校では、市の予算に加え同窓会からの500,000円の支援と合わせて、地域みらい留学を活用します。西城中学校と西城小学校の生徒・児童数も、中学校2年生を除いて、各学年20名を下回っています。従来と同じ取り組みでは、紫水高校の存続は望めません。入学生増のため、全国から生徒を募集します。

高校や鉄道が無くなれば、風評被害も加えて地域が衰退すると考えています。

だから地域の宝として捉え、学校の取り組みを支援し、併せて持続可能な地域づくりへの取り組みを行っていきます。

今後とも、地域の皆さんの支援とご協力をお願いします。文責・副会長 新田晴士



比婆山 山開き

5月26日(日)ひろしま県民の森で、晴天の中「比婆山山開き」が行われました。比婆山国際スカイラン大会が終了したため、少しさみしくなりましたが、今年も比婆山の夏山登山祈願祭がとり行われました。



比婆山登山安全祈願神事

西城小3食育教室

5月9日(木)西城小学校3年生19名がトウモロコシの種まきを行いました。指導された方から「種まきの後、草取り、消毒などの作業がある。こんな仕事が必要だと思ってほしい」と話していました。子どもたちは「楽しかった。勉強になった」と話していました。



五日市ひまわりの会 五日市公盛会

5月15日(水)、デイホーム事業「五日市ひまわりの会」では、グランドゴルフ大会が開催されました。

大会は、誰でも気軽に参加できるよう、～皆で動いて 皆で楽しい会を作ろう～を合言葉に、チームの編成、体調確認(血圧測定)、コースの準備及び会場設営などの役割を分担して準備され、18名の会員が参加されました。

4チームに分かれてのゲームでは、好天にも恵まれて好プレーや珍プレーも飛び出すなどそれぞれのスタイルで和気あいあいとプレーを楽しみながら親睦を深めるひと時となりました。



新地域マネージャー紹介

5月から地域マネージャーとしてお世話になります石堂博美です。微力ではございますが生まれ育った西城の地域づくりのサポートに努めたいと思います。よろしくお願いいたします。



1回5ポイント

来館だけでも!

西城自治振興センターにて「なみかカード・ほろかカード」で5ポイント付与されます。

1日1回限り 令和7(2025)年3月31日まで



西城自治振興区だより

2024.6.20(木) Vol.144

西城まちづくり便

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734 TEL/FAX:0824-82-2175 e-mail:saijyo.jichi@gmail.com



ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします!

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです 地域の情報などを発信します



西城まちづくり便 ヒバゴンの町西城

\*こちらからお入りください

豪雨災害につよい! みんなでつくる地域防災!

災害は忘れた頃にやってくる ~備えあれば憂いなし~ 自治振興区・自治会・常会と 住民でつくる安心安全なまちづくりに向けて



初夏、山々の緑は一層深みを増しています。5月28日に総代会を終えて、2年次を歩みます。テーマ「安心安全なまちづくり」に向けて、ホップ・ステップと飛躍したいと願っています。

さて、今年も梅雨の季節をむかえます。少し長雨が続き、避難情報ができれば、どうしようかと不安になるのは、私だけでしょうか。平成22(2010)年7月16日に梅雨前線により発生した局地的な「庄原ゲリラ豪雨」は記憶に新しく、川北・大戸地区では時間雨量91ミリに達し、尊い人命も失われました。そして、平成26(2014)年8月豪雨による広島県の土砂災害も鮮烈に記憶に残っています。

ここにきて、毎年のように百年に一度といわれるような大きな災害が発生し、全国的にも、大戸災害の8か月後の平成23(2011)年東日本大震災(3.11)と続き、その後には、熊本地震、西日本豪雨、令和元年度東日本台風(台風19号)、そして、今年元日には能登半島地震の惨状を目にしました。また、最近よく耳にする南海トラフ巨大地震が起こる確率は、今後30年以内に70~80%で、マグニチュードは8~9と言われています。皆さんも、私たちの西城でもいつ何が起きてもおかしくないと思われるようになってきています。そして、庄原市作成のハザードマップを見ると、自宅の周りを含め、ほとんどが危険な地域に指定されているのを知られます。

そうしたことから、総務広報部は各自治会ごとに! 「地区防災計画」をつくる取り組みをはじめています!!

とくに西城地域で関係するのは、集中豪雨により、河川が氾濫し、洪水になり、家屋が浸水したり、土石流、がけ崩れ、地すべりなど土砂災害が起こることです。線状降水帯という耳なれない気象用語も定着しました。また、時間雨量も100ミリを超えるのは普通にもなっています。

これまで、行政指導により、「災害時避難行動要支援者名簿」の作成・協力者依頼と、民生委員とケアマネージャーとの連携による要支援高齢者避難の対応はすすんでいると言えます。また、自治会によっては、自治会の費用で3名の防災士を養成し、自主防災組織が運用なされていると聞きます。しかし、多くの自治会では「避難所開設の連絡が来ても、自治会での具体的な対策方法がわからない」という現状です。

そこで、行政の防災対策に加えて、地域の視点から、災害時の避難行動を強めて、人命への被害を防ぐことをめざします。ご家庭でも、自宅回りの災害リスクや避難するための道を考えたり、また、食糧備蓄や防災グッズを用意したり、避難場所や避難のタイミングなどを考えて、「なにかやらかちゃ」と思われるようになっておられます。地域によっては、消防団員のお方が、防災用品リュックを所属している自治会の各世帯へ寄贈されたり、集会所に停電時の発電機を購入されたとも聞いています。

また、人と人との関係性が薄れ、それが非日常の災害時に多くの人の命が失われる要因にもなっていると言われます。大事な視点だと思えます。自治振興センターと自治会が固く結んで、さらに日常的につながりの深い常会と力を合わせていきます。何といても、いつも顔を合わせることができるご近所のつながりを一番に考えて、「互近助のチカラ」で、「安心安全なまちづくり」をめざします。

どうぞよろしくお願いいたします。

西城自治振興区 会長 田村 富夫



### 役員会

#### 令和5(2023)年度 第6回

4月30日(火)役員会を開催しました。協議内容は①総代会議案について。議案書は内容を確認できるよう、総代会開催前に自治会長と総代人数分を送付すること。②キャッシュレス決済推進事業について、前年度のポイント付与数を考えて、今年度は1日1回1ポイントから5ポイントとすること。③就業規則について、事務局長を管理職扱いに改定すること。④令和6年度 庄原市議会市民と語る会について、テーマを子育て支援を主にする。旧西城保育所跡地の利用を加えて、事務局で調整し提起すること。などが決まりました。



### 「本町親和会」夢公園清掃作業 五町自治会

5月26日(日)庄原市から管理委託されている夢公園の清掃作業を実施されました。夢公園は、酒造会社「比婆美人」があった場所です。花壇にはマリーゴールドとサルビアが植えられました。



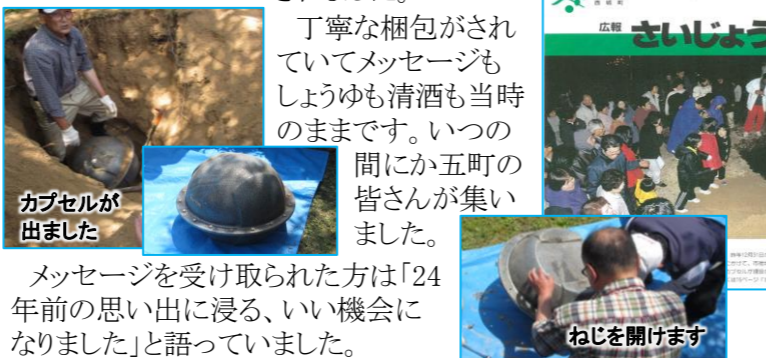
### 備後西城駅ジオラマでつなぐお披露目会

5月3日(金)備後西城駅開業90周年企画で備後西城駅～比婆山駅をイメージしたジオラマが披露された。模型のカーブ列車のNゲージやドイツ製のGゲージも運行しました。備後西城駅と同じ年(卒寿)縁で稲村美智子さんが名誉駅長に任命されました。



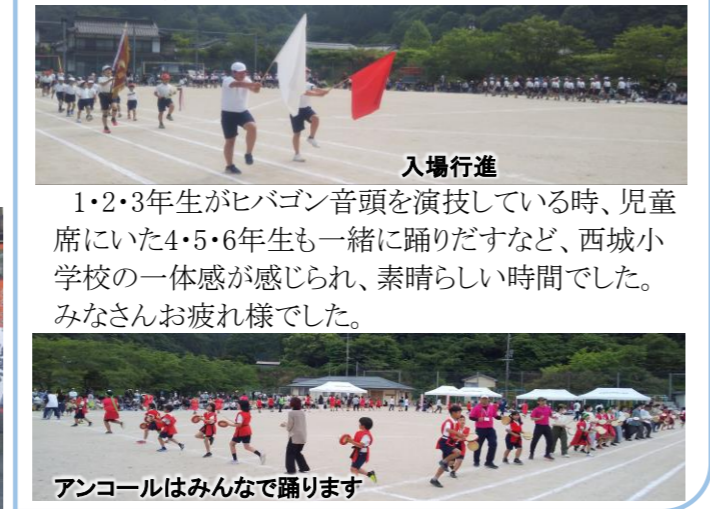
### 五町交流タイムカプセル 開封!

平成11(2000)年12月31日、夢公園に埋設されたタイムカプセル。コロナ禍で4年ほど遅れましたが、令和6(2024)年5月26日(日)に20年後にここで元気で会いましょうの思いと、500通を超えるメッセージと、しょうゆや清酒が1.5mほどの地中から掘り起こされました。



### 西城小学校運動会 若葉会運動会テーマ

6月2日(日) 西城小学校運動会が 開催されました。84名の児童が、この日のために積み重ねた練習の成果を披露しました。



### 大屋今櫛会サロンで遠足

大屋今櫛会サロンでは年一回の遠足を行っています。今回は5月26日(日)対象者17名、スタッフ6名で大衆演劇場 世羅温泉に出向きました。食事、入浴の後、人情劇を泣き笑いしながら観賞し、帰りは、道の駅「世羅」で皆さん多くの買い物をされ、大変喜ばれて帰路に着きました。



大屋今櫛会福祉部

### 第27回明神山「憩いの森」公園化作業

6月1日(土)明神山「憩いの森」公園化作業を実施されました。9名と参加は少なくなったが、頑張れる間は頑張ろうと力強く語られました。



### 地区防災計画の策定に向けて 地域マネージャー 活躍中

平子自治会では、甚大な自然災害が発生した際に地域内の「互助」により被害を少しでも減らせるように、予め各地域の立地などの特性に応じて発生時の「マイルール」を常会などの話し合いにより作ることで、5名の「平子地区防災計画策定委員会」を立ち上げ、令和7年3月末を目標に地区防災計画策定に取り組まれています。

5月30日(木)、西城ふれあいセンターにおいて、第3回の策定会議が開催され、これまでの経過等を踏まえて①地域ごとの防災マップから、豪雨災害時に想定される各世帯の浸水、急傾斜地の崩壊及び土石流被害のリスクを確認。②広報として、計画策定の経過等を平子自治会地区防災計画通信紙「逃げろっつ」を適宜作成して全世帯に配布する。通信紙には、「防災豆知識」コーナーによる基本的な情報や災害の記憶として過去の豪雨災害等の体験談なども記載する。③当面の避難所開設情報が出た場合の自治会の対応として、常会理事に伝達するとともに理事は避難時要支援世帯へ確実に伝達するなどの検討が行われました。

当面は、広報誌を活用しての防災への意識付けや周知を図りつつ①に基づき、各常会などの場を活用しながら1軒ごとの被害のリスクを確認し、それぞれの世帯で災害の状況に応じて「どう動くか」→「どこに避難するのか」、「誰と相談し合うか」などを検討してもらうとともに、発生時には迅速な安否確認や要救助などの対応のため、それぞれの世帯の行動を誰かに伝えてもらうよう進めることとなりました。

昨今の気候変動により、「今まで大丈夫だったから、これからも大丈夫だろう」にはなりそうにありません。全自治会で地区防災計画を策定し、安心・安全な町を継続しましょう。 記:石堂地域マネージャー



平子地区防災計画策定委員会のみなさん

### 西城ぎゅっとマルシェ

5月18日(土)に、西城みらいラボによって西城ぎゅっとマルシェが開催されました。イベントでは、西城の美味しい食べ物や旧宮崎旅館からみた西城川の景色など西城のいい所がぎゅっと集まったマルシェとなり大盛況でした!

ママヒビブースでは、子育ての大変さや楽しさをママさん達が話し合い今後の子育てに繋がる意見交換となる場となりました! また、高校生がデザインしたシールは、中国新聞にも取り上げられ当日もその後も西城を盛り上げたイベントとなりました!

西城みらいラボは、西城をより良くするためにイベントなどを通じ西城を盛り上げて行きます! 記:清水地域マネージャー



会場の旧宮崎旅館

### 老人囲碁同好会

毎月第2、第4の水曜日、土曜日(10:00~17:00)に西城自治振興センターの和室で対局しています。30年くらい前に、囲碁を趣味に持つ人が集まり、同好会を始めました。現在の会員は5名。平均年齢は約80歳。

最高齢は97歳。ボケ防止&親交を目的にしています。年齢を問わず会員を募集しています。興味のある方は見学に来てください。

【小松屈原代表談 連絡先 携帯電話:090-3176-8882】



碁盤で熱戦が続きます



老人囲碁同好会のみなさん

生涯学習自主運営教室